

＝生きている者＝

1. 死体に関する規定 民数記 19:11-13

1.1 善悪路線といのちの路線では、御言葉の取り方が異なってくる。

善き隣人のたとえ ルカ 10:30-35

善となるための行為には喜びがなく、人間らしさもない。また総ての律法を守るわけではなく、自己正当化が必要となる。⇒パリサイ人や祭司たちの特徴

1.2 死体に関する規定は、永遠の命にあずかる者についての規定

- ・ 死体：霊的に死んでいる者。
- ・ 触れる：naga (Nawgah) 単に触れるというのではなく、サタンによる偽りや姦淫にかかわるという意味が含まれる。 創世記 3:3
- ・ 汚れをきよめる水：聖霊 ヨハネ 7:37-39
- ・ 三日目と七日目：イエスの十字架とイエスの再臨による完全な贖い。死体に触れ、汚れていた私たちであっても、三日目と七日目でのきよめで完全に聖とされる。
⇒ 全ての人々への希望

2. 生きていることを楽しむ。

- ① 生きていないと神は働かれない。マタイ 22:32
- ② キリストと共に生きる ガラテヤ 5:25、ローマ 8:13
- ③ 生きている者達と交わる。ヨハネの黙示録 3:1、イザヤ 8:19
- ④ 死体に触れていたと気づいたら悔い改め。ルカ 15:21-24

三日目のきよめ、すなわち十字架に戻る。三日目のきよめがないと七日目のきよめにあずかれない。

3. 結論 詩篇 22:25-27

大会衆の中での私の賛美はあなたから出たものです。私は主を恐れる人々の前で私の誓いを果たします。

悩む者は、食べて、満ち足り、主を尋ね求める人々は、主を賛美しましょう。あなたがたの心が、いつまでも生きるように。

地の果て果てもみな、思い起こし、主に帰って来るでしょう。また、国々の民もみな、あなたの御前で伏し拝みましょう。